土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　一級河川太田川水系矢賀2支外砂防激甚災害対策特別緊急事業に伴う業務委託

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象　砂防 砂防

ボーリング名	Bor.No.5(落久保川右支7)	**調査位置**	広島市東区山根町　地内			**北緯**	34° 24′ 20.1″
発注機関	広島県西部建設事務所			**調査期間**	令和3年 2月 9日 ～ 令和3年 2月 10日	**東経**	132° 29′ 14.6″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**		**コア鑑定者**	**ボーリング責任者**
孔口標高	T.P. 78.73m	**角度**	180°, 上, 90°, 0°, 0°	**方位**	北 0°, 270° 西, 90° 東, 180° 南	**地盤勾配**	水平0°, 鉛直 90°, 0°
総削孔長	7.00m	**使用機種**		**試錐機**	東邦D-1B(58)	**エンジン**	ヤンマーNFD-13
ポンプ	東邦 BG-3B						

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事	孔内水位／測定月日
1				礫混じり粘土質砂		暗褐	rd1			砂は細砂主体で、中～粗砂も多少含む。 細粒分を多少含み、粘性を若干帯びる。 細礫、及び、木屑を混入する。	02/09 1.93
2	76.78	1.95		砂混じり砂		褐	rd2			マサ土状の土砂。 粒径不揃いの砂主体で、小礫を多少混入する。	
3	75.73	3.00		花崗岩		褐				花崗岩の風化帯。 GL-3.80mまで、ハンマー打撃でφ2～10mmの礫、及び、マサ土状に砕ける。 岩級区分はDH級。 以深、棒状コアで採取される。 岩級区分はCL級。	
4	74.73	4.00		花崗岩		灰褐				比較的硬質な棒状コアで採取される。 コア肌はなめらかである。 全体的に漏水なし。 岩級区分はCM～CH級。	
5											
6											
7	71.73	7.00									
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											

標準貫入試験

深度－N値図（0 10 20 30 40 50）

N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
3	1.15	1	1	1	3/300		
	1.45						
7	2.15	2	2	3	7/300		
	2.45						
75	3.15	22	28		50/200	200	
	3.35						
	4.00	貫入不能			50/0		
	4.00						
	5.00	貫入不能			50/0		
	5.00						
	6.00	貫入不能			50/0		
	6.00						
	7.00	貫入不能			50/0		
	7.00						

試料採取

深度 (m)	試料番号	採取方法

原位置試験

室内試験

削孔月日

2/9

2/10